

12月 ソウハチ 新聞

発行日：令和元年12月12日 発行：隠岐支庁水産局

今月のふるさと給食で食べるのは「ソウハチ」です。

ソウハチは島根県では「エテガレイ」や「キツネガレイ」とも呼ばれています。特に冬のはものは脂の乗りも抜群です。

今日は今が旬のソウハチを「カレイのから揚げ」でいただきますよう！

ソウハチってどんな魚？

ソウハチは体長40cm程度まで

成長し、主にエビや小魚などの底性の

生き物を食べています。

水深100m～200mの海底に生息

しているため、主に底びき網漁業で

漁獲されています。



また、雄よりも雌の方が大きくなり、寿命も長いといった特徴があります。

クイズ！カレイのこどもの目はどこにある？

カレイは平べったくて、2つの目が体の片側にあります。

また、ヒラメとよく似ており、有名な見分け方として、「左ヒラメに右カレイ」

という、目を上に向けたときの体の向きで見分けるという方法があります。（ちがうものもいます。）

では、こどもの目はどのようになっているのでしょうか？

- ①親と同じように片側にある。
- ②他の魚と同じように両側にある。
- ③こどもに目はない。